

2017イーナちゃん駅伝カーニバル

子どもの部 5位
地区の部 2位
総合 2位



総合 2位という素晴らしい結果を残してくれた美篤選手団。ありがとうございました。

子どもの部

第1走者の矢野悠揮(上川手)くん。スタートが遅れたけど、必死に追いかけて、たすきを第2走者の倉田詩菜(末広)さんへつなぎました。初めての400メートルに戸惑いながらも懸命に走ってくれました。絶対あきらめない。ここからが美篤の真骨頂です。



第3走者 赤羽惺七(末広)くん、あきらめないで前を追いかけて、2人を抜き去り順位をあげ、第4走者 宮下楓(青島)さんへ。800メートルという難しい距離に戸惑いながらも最後まで力強く走り切り、アンカーの赤羽湊(笠原)くんへとタスキリレー。ここからドラマが始まります。



トップとは150メートル以上離され4位。誰もが
あきらめそうになるところを、美篤のペースが期待
以上の走りを見せ、なんとグループ2位まで順位
あげました。このあきらめない走りが、このあとの
地区の部の大人たちに大きな力を与えてくれました。
溼の様な走りを！これを合言葉に地区の部の快進撃
が始まります。

地区の部2位という過去最高成績の獲得は、このと
きから始まっていたのかもしれませんが。



美篤のために走ってくれた子どもたちに大きな拍手!



地区の部 過去最高成績!見えたトップの背中



各チームエース級がそろそろ1区を堂々とした走りでチームに勢いをつけてくれた 赤羽 響(笠原)くん。今年的美篤は先行逃げ切りという小細工なしの真向勝負に挑みました。チーム2年目の 矢島 理恵(芦沢)さんが安定した走りで1区の流れを切らずに前を詰めました。さあここから美篤劇場が面白くなります。第3走者の中学生 田中 稜馬(中県)くんが一気に順位を2つ上げる快走で、エース春日 雄大郎(上大島)くんへつなぎ、1分の差を詰めたエースは、予定通りの首位に立ち第5走者 中山 公良(南割)さんにタスキリレー。なんと中盤で美篤が首位に立ちました。



3人連続2キロ6分台

そこからさらに後続との差を広げ、次走者へ何と3区から5区までの3人が2キロメートルを6分台で走るとい素晴らしい走りで堂々のトップです。この次の走者は初参加の選手で、美篤にある自動車屋さんの中では1番早いという称号をひっさげて出場した第6区伊藤 英幸(芦沢)さん。



その看板どおりの走りで後続チームとの差はさらに広がり最終局面へと入りました。

そして迎えたラスト3区。中学生の村田妃奈子(上川手)さんと白鳥 綾夏(上川手)さん。

とにかく前を見て一生懸命走る2人の姿勢が、爽やかな青空の下 とても印象的でした。2人の頑張りに刺激を受けたアンカー 最多出場の春日 隆大（上原）さんが初優勝を目指して追い上げます。



あと10秒、いや5秒縮まっていたら…
トップの背中にははっきりと とらえていてもなかなか差が縮まらない。それでも手に届くところまで優勝が見えたことに、大盛り上がりの慰労会でした。来年は一人1秒削って優勝したいと思います。と、話したことを選手たちは覚えているだろうか…



選手はもちろん、それを支えた区長さんをはじめスポーツ相談員の皆さん。ありがとうございました。

